

【 臨床研究に関する情報の公開 】

脳血管障害で当院を受診された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対する
ご協力のお願について

項 目	内 容
1. 研究課題名	回復期リハビリテーション病棟において中等度の転倒リスクと判定され転倒した脳血管障害者の入棟時日常生活動作能力および身体機能について
2. 研究の対象者	2017年4月1日から 2021年3月31日の間に、当院のリハビリテーション科において回復期リハビリテーションを受けられた脳血管障害者の方
3. 研究期間	令和3年9月3日 ～ 令和4年9月30日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施箇所：関西電力病院 リハビリテーション科 研究責任者：リハビリテーション部 理学療法士 山本浩平
5. 本研究の意義・目的	回復期リハビリテーション病棟における転倒予防を図るため、入棟時に転倒リスクアセスメントシートにより転倒リスクがあると判定された者の内、転倒した者の入棟時の日常生活動作能力ならびに身体機能の関係を明らかにすること。
6. 研究の方法	後方視的観察研究、群間比較
7. 研究に用いる試料・情報の種類	転倒インシデントレポート（受傷レベル・発生日・発生時間・患者ID・患者氏名・年齢・疾患名・転倒場所・転倒誘因・転倒原因・転倒アセスメントスコア・センサーの有無・介助者の有無・転倒歴の有無）、回復期リハビリテーション病棟における脳血管障害者の身体機能評価（NIHSS, FMA, MI, MRS, MAS）、入棟時F I M得点
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	情報管理担当者が研究用パソコン内にデータとして保管し、施錠可能なデスクにおいて保管管理する。 廃棄については、研究発表後、5年間保管し、データ廃棄の際は、複数名で完全にデータを消去したことを確認する。
9. 個人情報の保護について	情報収集には、診療IDや患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 リハビリテーション部 理学療法士 山本浩平
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 リハビリテーション部 理学療法士 山本浩平 電話：06-6458-5821（代表）